



皆さん ご無沙汰してしまっておりました。
色々たて混むと 間があいてしまいます。

今回は、8月に予定している講演会の宣伝をしたいと思っています。

地域がん診療連携拠点病院の責務として、年1回がんについての市民公開講座を企画・運営しています。本年度から企画責任者を私が担当しています。

8月25日(土)に岡谷のカノラホール(小ホール)で、大腸がん(結腸がん、直腸がん)についての講演会を予定しています。

著名人を呼んでの講演会というスタイルでなく、様々な切り口で大腸がん診療を俯瞰した内容を考え、講演は4部構成としています。

まず、大腸がんと診断された方の多くが、『人工肛門』になるかどうかということに気になるように思っています。『人工肛門』と聞くと、何か機械がつくようなイメージも持つ方もいるかと思います。より理解をしてもらうために『人工肛門』の専門家である当院看護師の原さんに話ししてもらいます。

次に実際の患者さんはどのように過ごして、どのように感じているのでしょうか。これについては、がんサバイバーである柿本さんに話しってもらうことにしています。

がんの薬による治療はどこまでできたのか、そして、これから先どのようになっていくのであろうかということについて私が話をします。できるだけ難しい話にしないよう準備していきたいと思っています。

最後に、負担の少ない手術といえる、大腸がんに対する腹腔鏡手術のエキスパートである当院外科の五味先生に実際の手術画像も踏まえた話をしてもらいます。

短い講演時間かもしれませんが、このようにバラティーターにとんだ内容で、皆様の大腸がん診療についての疑問や不安が払拭できるようになればと強く願っています。
是非、皆様お誘いの上、ご来場いただければと思っています。

それでは、また。